

『自分の場所』

学校長：武藤 浩之

右の写真。撮影日付を見ると4月17日でした。園舎の東側の角。電柱下のアスファルトから花を咲かせていたのはパンジーです。その生命力に驚かされたと同時に、ふと思い出したことがありました。『置かれた場所で咲きなさい (Sr.渡辺和子著)』です。



聖母小だより6月号の巻頭言。今回は、園だよりのそれも並行して書くことになりました。園の方の表題にしたのは『安心できる場所』です。趣意を端的に言えば「園舎で、保育室で、園庭で、子ども達と先生方が紡いでいく愛着関係、あるいは信頼関係。こうした日々を通して幼稚園が安心できる場所になっていく」ということです。それは小学校、小学生とて同じでありましょう。

分散登校を開始した5月の半ば、放送朝礼で『場所』についての話をしました。それは「皆さんにとって学校はもう一つの家。教室はもう一つの部屋。部屋の中には一人ひとりの机があり、椅子がある。どれも皆さんにとって自分の場所」という話です。

まずは、子ども達にとって学校が『安心できる場所』であること。そこに『自分の場所』があること。これからも、そういう学校であり続けたい。登校再開にあたっての思いです。

校舎内消毒作業の様子



- 本校でも、感染症予防対策として、校舎内の清掃、消毒に努めています。保護者の皆さまには、児童の「検温」「マスク着用」などのご協力ありがとうございます。
- また、教室も常時換気を行っております。6月に入り衣替えとなりましたが、天候、気温に合わせて上着等を着用させてください。(教頭)



お知らせ・お願い

ご寄付いただきました

☆マスク、ポケットティッシュのご寄付をいただきました。本日、配付しております。

- ・福島市教育委員会
- ・中央学習センター
- ・小学校保護者の方々

☆手芸ボランティアより
・・・120,000円
(入学前保護者会、手芸品売上等)
☆心より感謝申し上げます。

給食弁当

・6月5日(金)より、給食弁当を開始します。

健康診断実施日

『内科検診』

- ・6月11日(木)・・・5,6年生
- ・6月15日(月)・・・3,4年生
- ・7月16日(木)・・・1,2年生

『耳鼻科検診』：対象1,3年生

- ・6月22日(月)

甲状腺検査

・6月23日(火)に予定されていましたが、9月以降に延期となりました。

個人線量計(ガラスバッジ)貸出申込

・申し込み締め切り・・・6月30日(火)当日消印有効(申込用紙は5月18日(月)の週に配付済み。)

手芸ボランティア (保護者)

☆手芸品の材料が不足しています。下のものをご家庭にご不要なものがございましたら、ご協力ください。

※材料は、お子さんを通して担任の先生まで。

・布：ニット、カーテン生地を除いたもの。
(使用済みのハギレ等で可)

- ・糸：手縫い糸、ミシン用(使用済み可)
- ・その他：紐、ゴム、レース、アップリケ、ボタン、ビーズ、持ち手用のアクリルテープなど
(すべて使用済み可)

☆手提げ、ランチョンマット、道具袋等をお作りになりたい方は、お手伝いをいたします。ミシンも使用できます。お気軽にいらしてください。

- ・活動日：毎週水曜日 9:30~14:00頃
- ・活動場所：小学校本校舎2階「児童会室」

祈りをささげたマリア祭

5月28日29日の朝の時間に、マリア祭を放送で行ないました。

例年は全校生が講堂に集まって、マリア様に花の冠を差し上げたり、聖母月の実行表をお捧げしたりしていますが、今年はコロナウイルスの影響で、放送でのマリア祭となりました。その中で学院の宗教主事であるシスター鶴野篤子先生から、マリア様についてのお話を伺いました。十字架の上のイエス様が弟子にマリア様のことを「ご覧なさい。あなたの母です。」と言われたので、マリア様はすべての人の母になりました、というお話でした。また、一人ひとりマリア様に祈りを捧げました。放送でしたが、心が静かになるよい時間を過ごすことができました。

今年は2年生以上の子どもたちは実行表に「休校中に感じたこと」を書きました。その中には「早く友だちに会いたかった。」「友だちと会ったら、わくわくするほどうれしかった。」「久しぶりに会った友だちは、少し大人っぽくなっていた。」「友だちは、こんなにやさしそうだったのか、こんなにかっこよかったのか、と思い、さびしさが一気に消えた。」など、友だちといっしょに過ごすことの素晴らしさを感じた子がたくさんいました。コロナウイルス禍の中で、共に過ごす学校生活が、どんなに貴重な時間なのかをあらためて感じとることができたようです。



＝児童玄関に設置したマリア様＝
各クラスの実行表を捧げました。
(宗教科 定方 一悦)